

まちカフェ！はまだまだ発展途上。 市民協働の最高のイベントになれるはず

まちカフェ！実行委員会

谷川 博宣さん
柴崎 保子さん



まちカフェ！実行委員会事務局

町田市市民部市民協働推進課
TEL 042-724-4362

<https://www.city.machida.tokyo.jp/community/shimin/event/machicafe2012.html>

来る12月6日、9回目となる市民協働フェスティバル「まちカフェ」が開催される。これは、町田市内で主に活動するNPO法人やボランティア団体、町内会・自治会などの地域活動団体や店舗、学校など、様々な団体が一堂に集うイベントだ。昨年の観客動員は約3100名。実行委員会は各種団体や自発的に参加したボランティア等約1000名で構成され、正に市民の力を結集した一大イベントとして、現在準備を進めている。



柴崎保子さん

裕もないほど仕事中心の生活で、近所には知り合いもいなかった。「まちだサポーターズ」で沢山の繋がりが出来ました。今では市の各セクションから依頼があり、その一つが「スポーツ」であり、「まちだ自慢」であり、「まちカフェ」です。自分の空いている時間に、自分の好きなものに参加できるし、本当に充実しています。」昨年、初参加したまちカフェでも運営サイドでステージの準備や参加団体との交渉を行った。通常、ボランティアは1日限り。しかし、まちカフェは約半年の長丁場。その分、知り合える人も多く関係を深められるのが魅力だという。

実行委員長の谷川さんは「まちだサポーターズ」の一員で、主にスポーツイベントのボランティア活動を行っている。

2013年の東京国体4競技のために2012年に組織された「まちだサポーターズ」。国体終了後も600名近くが登録し、現在も市内の様々なイベントで活動を行っている。谷川さんがボランティアを始めたきっかけもこの「まちだサポーターズ」だった。2012年に定年退職して地域との繋がりをもちたいと思っていた矢先、広報の募集告知が目飛び込んできたという。それまでは広報さえ見る余

になる時間が出たのをきっかけに、思い立ってボランティアに参加してみたいです。

今まで接点なかった幅広い年齢層の人たちと知り合いになったことが魅力。まちカフェは初めてなのにいきなり運営側で、手探りでやっている部分もありますが、皆で意見し合い、企画を進め、私自身がまず楽しんでいきます。」と語る。

「まちカフェ」では「100人会」と呼ばれるミーティングを開催し、多くの意見を吸い上げている。皆でアイデアを出し、考え抜き、創り上げる。「我々はあくまでお手伝いというスタンスです。段取りはするけれど、出演・出展団体さんが工夫して魅力ある内容にして来場者を楽しませてほしい。課題は沢山あります。告知も足りないですし、年齢層ももっと広くしていかないと。ただ、そのやり方がまだ良く見えていない。でも、少しずつ進歩している」とは確か。谷川さんは手応えを掴ん

「まちカフェ」では「100人会」と呼ばれるミーティングを開催し、多くの意見を吸い上げている。皆でアイデアを出し、考え抜き、創り上げる。「我々はあくまでお手伝いというスタンスです。段取りはするけれど、出演・出展団体さんが工夫して魅力ある内容にして来場者を楽しませてほしい。課題は沢山あります。告知も足りないですし、年齢層ももっと広くしていかないと。ただ、そのやり方がまだ良く見えていない。でも、少しずつ進歩している」とは確か。谷川さんは手応えを掴ん

柴崎さんは2013年9月の国体本大会から「まちだサポーターズ」に参加した。まちカフェ！には今回が初参加だ。もともとボランティアに興味があったが仕事中心の日々を送っていた。「たまたま2年前、仕事の体制が変わり自由

谷川博宣さんは2013年9月の国体本大会から「まちだサポーターズ」に参加した。まちカフェ！には今回が初参加だ。もともとボランティアに興味があったが仕事中心の日々を送っていた。「たまたま2年前、仕事の体制が変わり自由



谷川博宣さん

The Machibito — Chitaki ni Ikiru

でいるようだ。

まちカフェ！未体験の柴崎さんも表情は明るい。「どんなイベントになるのか、何人来てくれるのか、今からワクワクしています。去年よりも今年、今年より来年、そして参加した人が来年は知り合いを巻き込んでどんどん広がってほしい。」市民活動のPRの場であり、交流を深めることも目的の一つ。その先に市民活動がもっと広がり、最終的に住みよい町を創る、市と市民が共にこの目的に向かう「協働」の姿がそこにある。まちカフェ！はまだまだ発展途上だ。

第9回市民協働フェスティバル
まちカフェ！
2015年12月6日(日)
9時30分～16時30分
町田市役所1F～3F
入場無料

100を超える団体による様々なブースやワークショップ、ステージなどが繰り広げられます

A. B. 手作りのフラッグで飾られた1階と展示ブースの様子 C. 実行委員会のメンバーは職種も世代も様々

